ホテル・旅館向けシステム

満室御礼

DX推進 インボイス対応します

「予約」・「フロント会計」・「顧客管理」宿泊業の基幹業務を丸ごとパック

「満室御礼」スマート端末系・各種連携オプションがさらに充実！
機能・操作性の向上はもちろん画面の見やすさにもこだわりました。

「生産性の向上・業務の効率化」を多角的にお手伝い。
予約管理、顧客管理から、各種インフォメーションまで、毎日の業務をもっとスムーズに。

観光施設、団体食事処施設様には…　行楽日和

電子帳簿保存法のことなら　hacobay はこべえ　Character designed by 八橋

お問い合わせ・資料請求　株式会電算インフォメーション　☎ 054-289-2218
静岡県静岡市駿河区寿町6-34
https://www.d-info.co.jp

DIC

電算インフォメーション

ブース番号 5－G22

宿泊施設の基幹業務システムなど
つながるホテル・旅館システムへ

基幹業務システム「満室御礼」などの電算インフォメーション。今回のテーマは、昨年から引き続き「つながるホテル・旅館システムへ」。展示内容は満室御礼とインバウンド向けシステムの「行楽日和」に加え、他社製品との連動を紹介する。

非接触や、チェックアウト時のフロントの混雑緩和のためにルームチェックアウトのニーズが高まっている。同社では、客室に設置されたQRコードからクレジット決済が可能な新サービスを提案する。また、自動精算機との連携も順調という。日常のセルフレジなどの普及により、「旅館でも宿泊客は抵抗なく利用している」と同社。

また、改正電子帳簿保存法に対応したソリューション「hacobay」を新規に展示する。NAS（ネットワークアタッチトストレージ）を利用し社内のネットワークに設置するだけですぐに運用可能。今後はAPIの開発を予定し、インボイス制度対応のため満室御礼との連携を進める。

今年もFunFusionとの共同出展。満室御礼と連携した「ホテル旅館SMS」を展示し、「ノーショー対策や電話業務の削減に効果的」とアピールする。併せて、災害に備える安否確認システム「緊急SMS」も紹介予定という。

プロフィックスとは昨年に引き続きの共同出展。満室御礼と連携可能な「配膳管理システム」を展示する。また、「ポケやど（ポケット宿ガイド）」はアンケート機能を追加し満室御礼と連携可能となり顧客サービス向上に貢献している。

同社ではDXへの取り組みへのサポートや多様化するニーズにこたえるため、他社製品との連携も積極的。「つながるPMSを目指していく」と同社。

前回の出展ブース

タップ

ブース番号 5－C18

ホテル旅館専門総合エンジニアリング
「ホスピタリティラボ沖縄」を紹介

タップは、ホテル・旅館専門の総合エンジニアリング会社。創業36年の老舗で、PMS（ホテルシステム）ユーザー宿泊施設数は1500軒、5万室を超えている。

HCJ2023の同社ブースでは、6月に沖縄県うるま市に開設する実証実験ホテル「タップホスピタリティラボ沖縄（以下、THL）」のデモを行う。THLは地上7階建て、総客室数38室。沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点となるために進めているビッグプロジェクト「沖縄IT津梁パーク」内に新築し、現在開設準備を進めている。

THLの主な目的は宿泊施設の生産性や顧客満足度の向上。ロボットをはじめとする最新テクノロジーを宿泊施設に導入するための実証実験を、タップが核となり、さまざまな企業と連携して行う。ブースでは、日立製作所、三菱電機、パナソニック、シャープ、ソフトバンクなどとの連携デモを披露する。

タップの描くグランドデザインは、ゲストがスマホなど自分の端末を使ってホテルステイを操作する「マイホテル・マイオペレーション」。同社宿泊・観光DX事業部長の小竹満弘氏は今回の展示デモについて次のように話している。「スマホによる事前チェックインから客室キー発行、チェックアウトから決済、レストランやルームサービスのオーダーなどのワンストップ体験をしていただきます。レストランについては、冷凍食品の解凍、加熱から搬送、バッシングまでの全てをロボットが行う無人オペレーションの一部もデモ予定です。

今回のブースは、タップが今後THLで推進する宿泊施設の未来像の一部も垣間見ることができる展示ブースになりそうだ。

今年のタップブース（パース）

テクノロジーを
利活用した
総合実証実験施設

タップホスピタリティラボ沖縄

2023年6月、
沖縄県うるま市に
完成予定

tap　株式会社タップ
〒135-0016　東京都江東区東陽2-2-4　マニュライフプレイス東陽町1F　TEL：03-5683-5311 ／ FAX：03-5683-5310 ／ URL：https://www.tap-ic.co.jp/

総合

スポーツ文化ツーリズム賞
奥熊野ウルトラマラソンに
観光庁など

観光庁、スポーツ庁、文化庁が主催する「スポーツ文化ツーリズムアワード2022」の受賞団体が発表された。スポーツ文化ツーリズム賞には、世界文化遺産がある和歌山県・熊野エリアで開催されている「奥熊野いだ天ウルトラマラソン」（実施団体・奥熊野いだ天ウルトラマラソン実行委員会、申請団体・那智勝浦観光機構）が選ばれた。

アワードは、スポーツ、文化・芸術、観光が融合した優れた取り組みを評価し、普及する目的で、3庁が共同で2016年度から毎年実施している。22年度の開催には17件の応募があり、6件が各賞に選定された。

奥熊野いだ天ウルトラマラソンは、那智の滝をスタートし、補陀洛山寺にゴールする100㌔部門などがあるウルトラマラソン大会。1999年に始まり、コロナ禍による中止を経て、第23回大会が今年4月に4年ぶりに開催される。地元が一体となったイベントで、住民による仮装応援、観光名所を取り入れたコース設定などが魅力となっている。

スポーツツーリズム賞には、遊歩道を凍らせた周遊型屋外リンクが特徴の北海道釧路市で行われている「くしろウインターパーク」（くしろウインターパーク実行委員会）を選定。文化ツーリズム賞には、大分県・耶馬渓エリアを舞台に日本遺産の文化財も生かした「地域住民が中心となった観光体験プログラム『やばはく』の開催」（中津玖珠日本遺産推進協議会）が選ばれた。

この他に特別賞として3件が選出された。武道ツーリズム賞は、岐阜県高山市の半弓道場で行われている和弓を用いた外国人に人気の遊び「GIVE IT A SHOT！ 矢ってみよう！」。日本遺産ツーリズム賞には、茨城県内の日本遺産の関係自治体などが参加するイベント「牛久シャトー日本遺産フェスタ」（ワイン文化日本遺産協議会）。食文化ツーリズム賞には、江戸時代に由来するコンテンツを生かした「『江戸たいとうサスティナブル／台東区版SDGs』の実現」（東京都台東区）が選定された。

逆境をチャンスに
―旅館の再生プラン
〈646〉

青木　康弘

前回に引き続き、困難な状況を乗り越え、施設を再興させるために2023年に取り組むべきことを紹介したい。新型コロナが流行を始めてから4年目になろうとしている。全国旅行支援により観光地は活況を取り戻しつつあるが、新型コロナの再燃や政府の政策に翻弄（ほんろう）され道標を見失っている旅館・ホテルは少なくない。

2023年に取り組むべきこと〈5〉

⑤他業種よりも優れた社内体制を築く

旅館・ホテル業が人材獲得に苦戦している理由として、生産性の改善が進んでおらず待遇改善を行うだけの利益を獲得できていないことがある。この問題意識を受けて、観光庁より「宿泊業の高付加価値化に向けたガイドライン」が発表された。①会計の視点②持続可能性の視点③労働環境改善の視点④IT導入の視点―の四つの領域ごとに取り組むべき基本項目（必須事項）、高付加価値化に資する発展的な取り組み事項（努力事項）がチェックリストとして明確化されている。

管理スタッフの少ない中小施設が全ての事項に対応することは困難であると考えられるが、一つでも多くのチェック項目を達成して、人材採用を円滑に行える高収益体質の施設を目指そう。

必須事項として挙げられているのが、①貸借対照表・損益計算書・売上計画書・返済予定表の作成、労働生産性・従業員平均給与の算出、ADR・RevPARの算出②観光施設における心のバリアフリー認定制度の取得③労働関係法の順守・掲示、就業規則の作成・届出・周知、36協定の締結・届出・周知、変形労働時間制の作成・届出・周知④連絡手段の電子化、情報発信手段の電子化―である。

努力事項になると格段に難易度が上がる。キャッシュフロー計算書の作成や比率分析の実施、部門別会計の作成が求められるほか、サスティナビリティ、GSTC認定の第三者認証機関からの認証、BCPの取り組みが求められる。加えて、退職金制度や能力評価制度の導入、レベニューマネジメントシステム等の導入が求められる。

チェックリストの詳しい説明は観光庁ホームページを見てほしい。認証を取得すると補助金申請で優遇されるというメリットがある。自社の管理部門の対応能力に合わせて目標設定を行い、無理のない範囲で取り組むことをお勧めする。

（アルファコンサルティング代表取締役）

ホテル・旅館のお悩みなら、
なんでもお任せください！
業績改善　販売代行　経費削減　事業計画作成　後継者問題
本紙にて弊社代表が「逆境をチャンスに」連載中！
ダウンロード無料　事業計画 業績アップ 特別資料
株式会社アルファコンサルティング https://alfa-consulting.co.jp

富岡製糸場の計画認定
文化庁など　文化観光の推進で

文化庁、観光庁は、文化観光推進法に基づき、世界文化遺産でもある富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画（申請者・群馬県富岡市）を認定したと発表した。再審査となっていた申請分で、昨年12月の有識者委員会を経て認定した。

富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画に掲げる主な事業は、国宝「繰糸所」や「東置繭所」の展示コンテンツ磨き上げ事業、音声ガイドや説明板の多言語化事業、電動バスの利便性強化事業、温泉宿泊施設などとの富岡シルク製品を活用した連携事業。富岡製糸場の入場者数の増加や満足度の向上などを目指す。

今回の認定で文化観光推進法に基づく計画認定は計45件となった。内訳は、施設設置者などが策定した文化観光拠点施設の機能強化に関する「拠点計画」として29件、自治体などによる文化観光の総合計画である「地域計画」が16件。

計画が認定を受けると、国や地方公共団体、国立博物館による助言、日本政府観光局（JNTO）による海外宣伝、国所有の文化資源の公開などに関する支援が受けられる。

設立記念で シンポジウム
せとうち四国

瀬戸内地域や四国の持続可能な観光振興に貢献しようと、2022年1月に「一般社団法人せとうち四国観光地域創生研究所」が設立された。法人設立を記念したシンポジウム「観光と人づくり」が2月25日に開催される。会場は、高松市のせとうち観光専門職短期大学の穴吹学園ホール。入場無料。

第1部では、日本総合研究所主席研究員、日本政策投資銀行地域企画部特任顧問の藻谷浩介氏が「真の観光立国に向けて～SETOUCHIは観光で蘇る」と題して基調講演する。

第2部のパネルディスカッションは「せとうち地域の観光と人財育成」をテーマに、藻谷氏、香川県観光協会会長の三矢昌洋氏、せとうち観光専門職短期大学助教の平侑子氏が登壇する。

詳細は同研究所のホームページ（https://www.sss-lab.or.jp/）まで。

駅メロ とわずがたり
藤澤志穂子
―8―

「秋田犬の里」を歌うデュオ「ダックスムーン」

「忠犬ハチ公」はちょうど100年前の1923（大正12）年、現在の秋田県大館市で生まれた秋田犬。生後50日で、大館駅から列車に乗って東京帝国大学の上野英三郎教授にもらわれていった。教授亡き後も渋谷駅前で帰りを待ち続けた姿は今も語り継がれ、今年は生誕100年を記念したさまざまなイベントが大館市と渋谷区を中心に企画されている。

ハチ公が旅立った大館駅の上り線のメロディーは「ハチ公物語」。大館市を拠点に活動を続ける音楽デュオ「ダックスムーン」（Ducks Moon）のオリジナルで2007年から採用されている。秋田大学北秋田分校長で元小学校校長の三浦栄一さん（63）＝写真左＝と、ウクレレ教室主催で元歯科技工士の木村孝明さん（61）＝同右、ダックスムーン提供＝のコンビで、ともに大館市出身、高校で出会い、40年以上も一緒に歌い続けてきた。主に三浦さんが作詞とボーカル、木村さんが作曲とギター、キーボードを担当、一時はプロを目指したが「地元で楽しみながら音楽をやろう」と、仕事のかたわら音楽活動を続けてきた。

大館駅のメロディーは、その音楽にほれ込んだ当時の駅長のたっての願いで制作された。過疎化が進む大館を「何とか元気にしたい」という駅長の思いに応えた曲は、ハチ公と教授の絆と、待つことの切なさを温かく見守る、優しくも透明なメロディー。デュオ名の由来でもある「月夜にアヒルが歌う」イメージに近い曲調が特徴だ。

大館駅では下り線で同じくダックスムーンの「きりたんぽ物語」が流れている。毎年秋に大館市で開催される「きりたんぽまつり」のテーマソングとして制作された。やはり毎年2月に大館市で開催される飴（あめ）のお祭り「アメッコ市」にも曲を提供している。各種イベントの際にはミニコンサートを実施、1月末の「比内とりの市」にも出演し、喝采を浴びた。

最近は活動が大館市以外にも広がった。「世界三大樹氷」の一つで知られる森吉山（秋田県北秋田市）の近くにある森吉山ダムの振興のため、四季折々に美しいダム湖を歌った「四季美湖物語」を提供。この曲は第三セクターの秋田内陸線・阿仁前田温泉駅のメロディーとして昨年1月から流れている。また今年7月に秋田県小坂町で開催予定の、日本産ワインコンクールの応援歌をつくる予定もあるという。小坂町では山ブドウを原材料とするワインを製造しており、コンクールは全国から同様のワインの出品を募る「おそらく日本初の開催」（小坂町）だ。「秋田を盛り上げることに貢献できれば、こんなにうれしいことはないですね」と2人は口をそろえる。

ともに還暦を過ぎ、時間に余裕ができてきたことで今後は音楽活動を増やしていきたいという。楽曲は配信サービスのレコチョク（https://recochoku.jp/artist/2001265445/）で購入できるほか、FM秋田で「ダックスムーンのランチde，ポップス」（毎週土曜12時～12時25分）というレギュラー番組を持っている。

※元産経新聞経済部記者、昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員。「乗り鉄」から鉄道研究家への道を目指している。著書に「釣りキチ三平の夢　矢口高雄外伝」（世界文化社）など。

＝隔週掲載

第51回国際ホテル・レストラン・ショー出展

◆会期:2月7日（火）～10日（金）
◆会場:東京ビッグサイト東展示棟5ホール（小間番号5-N18）
◆協賛:富士通株式会社

新たなプラットフォームでフルモデルチェンジ！

最大の特徴は　多様なニーズに対応できる柔軟性

◎データ連動性　・予約管理からフロント会計、売上管理そして顧客管理まで一元管理し、お客様の「入口」から「出口」そしてまた「入口」へとリピートサイクルの確立を支援します。

◎拡張性　・様々な連動オプションシステムを準備
CTI、厨房インフォメーション、売掛管理、タブレットチェックイン、セルフオーダリングシステムルームインジケーター、サイトコントローラ (2Way)、自動精算機、自動釣銭機、POS システム スマートキー、財務会計システム連動、etc

◎柔軟性　・クラウド型(サービス提供型)・オンプレミス型いずれの形式でもご提供可能です。
・オンプレミス型～ クラウド型でもカスタマイズ・オリジナル帳票作成等 柔軟な対応が可能です。
・ご希望の外部システムとの連携など柔軟に対応致します。

旅館ホテルトータルソリューション MACRA ～マクラ～

MACRA
Management Assist of Customer・Reservation・Account

姉妹システム
充実したシステム内容で操作は簡単、価格は安く！
コンパクトなシステム
フロントシステム スマート
プレチェックイン　フロント会計　顧客管理

充実のシステム内容、驚きの価格
ビジネスホテル専用システム
フロントシステムBIZ

新日本コンピュータサービス株式会社
〒321-0952 宇都宮市泉が丘5－7－11
TEL.028-660-1160㈹ FAX.028-660-1161
URL　http://www.njcs.co.jp/
東京オフィス
〒162-0845 新宿区市谷本村町 3-19 千代田ビル 704
TEL.03-6457-5407 FAX.03-6457-5408

「国際ホテル・レストラン・ショー」など3展示会
7日から東京ビッグサイトで開催

外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展
第51回 国際ホテル・レストラン・ショー HOTERES JAPAN
給食・宅配サービス業界に向けた商談専門展
第44回 フード・ケータリングショー CATEREX JAPAN
セントラルキッチンを含む総合厨房・フードサービス機器の商談専門展
第23回 厨房設備機器展
HCJ2023

ホテルやレストランなどホスピタリティとフードサービス業界における国内最大級の商談専門展示会「HCJ2023」が7日から10日までの4日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される。HCJ2023は、外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展「第51回国際ホテル・レストラン・ショー」と、給食・宅配サービス業界に向けた商談専門展「第44回フード・ケータリングショー」、総合厨房・フードサービス機器の商談専門展「第23回厨房設備機器展」から構成される3展示会の総称。主催は日本能率協会（JMA）。

日本の観光産業が進化していくための情報発信、ビジネスマッチングの創出を目的に開催。708社、1885ブースが出展する予定。

今回はサービス産業界の課題の中でも①安心、安全なサービス環境の確保ならびにSDGs対応の促進②デジタル技術の導入による生産性向上・人手不足対策③地方創生に資する地域産品の全国展開、観光サービスの高付加価値創出―の3点を重視。

各種テクノロジーによる顧客体験価値向上と生産性向上をサービス業界に向けて提案する「サービス業×テクノロジーEXPO」、空前のブームを迎えているサウナ文化をけん引する製品を多数展示する「テルマエJAPAN」など、多様な企画を実施する。

また、各業界の第一人者による講演会やセミナー、サステナブル食材をテーマに、ライブキッチンステージで調理したメニューの試食、試飲など、さまざまなコンテンツを用意する。

前回の開催の様子

特集 8～10面

基幹・オプションシステム

新日本コンピュータサービス

ブース番号　5－N18

昨年の出展ブース

新日本コンピュータサービスは今年の国際ホテル・レストラン・ショーで、新しいシステムを紹介する。前回同様、開放的なブース設計にして、来場者がシステムに気軽に触れたり、操作したりできるようにする。

MACRAは予約管理、会計管理、顧客管理の基本システムについて、従来製品からプラットフォームを一新、フルモデルチェンジしたもの。柔軟性がさらに強化され、ユーザーごとの細かい要望に応じたカスタマイズやオプションシステムの追加、各種外部システムとの連動がさらに容易に行えるようになった。

予約管理、会計管理、顧客管理の各システムで、それぞれデータを個別に管理していたものを、MACRAでは一元化。「現在、どのぐらいの予約が入っていて、最終的にどのぐらいの売り上げになるか」など、経営戦略を立てる上でのデータ抽出が容易になった。

基幹システムはこのほか、小規模旅館・ホテル向けの「フロントシステムスマート」、宿泊特化型ビジネスホテル、簡易宿所向けの「フロントシステムBIZ」をラインアップ。

オプションシステムは、予約客から電話がかかってきた際、顧客の情報が画面に表示される「CTIシステム」、厨房のモニターに当日の料理に関する情報が表示される「厨房インフォメーションシステム」、食事処における「セルフオーダリングシステム」など、一元化。「現在、どの幅広くそろえる。

新システムなど紹介

ろ過装置など

ショウエイ

ブース番号　5－E03

今回の出展イメージ

温浴用循環型ろ過装置専門メーカーのショウエイは、今回のホテル・レストラン・ショーで、主力のろ過装置「SPFシリーズ」に加え、温泉の温度を常時適温に制御するシステム「湯守のお手伝い」、浴槽水を加熱する昇温ユニット「子熱」などを出展する。併せて、同社ではSDGsへの取り組みを積極的に展開しているが、ろ過装置導入による水と電力、CO_2の削減実績をパネル展示によりアピールする。

SPFシリーズは、耐蝕性、対候性、保温性に優れたFRP（繊維強化プラスチック）製のため、腐食性の高い温泉や海水などにも対応。タンクは10年保証のため安心して使用できる。さらに、省エネシステムの「SBEM」の採用で、ろ過循環ポンプの効率的な回転数制御を行う。これにより電力消費の削減に寄与するほか、電波式入浴者感知器により入浴者の有無を感知。必要時のみかけ流し運転を行うため無駄な排水と排熱を抑え、ランニングコストを大幅に削減できる。

同社では2006年10月から22年9月までの16年間の納入実績からその削減量を算出。CO_2は334・4万㌧を削減した。この値はCO_2を吸収するユーカリ森林面積比で東京都に換算すると55・4%の面積にあたる。水量は67億5485万㌧を削減。これは琵琶湖の24・5%の面積に匹敵する。

一方の湯守のお手伝いは、難しいとされる高温の温泉をほぼ適温の42度程度にまで自動で下げるシステム。内風呂、露天風呂に浴槽内温度センサーを、脱衣室などには制御サーバーを設置し、温泉温度を適温に制御する。

温泉温度の情報は、同社のクラウドサーバー監視システムからインターネット経由で送信されるので、パソコンやスマートフォンなどから確認できる。温泉の温度が高くなったなどの異常が感知された場合は警報で告知する。

子熱は、客室に設置されている内湯、露天風呂などの小型浴槽用に開発。耐蝕樹脂製の小型熱交換器の採用で温泉にも対応。湯量500～1500㍑の浴槽に使用可能。製品特徴は、構成部品が少なく軽量でコンパクトながら確かな保温性能を実現。オプションで集毛網付き吸込口を採用すれば、ヘアキャッチャーの設置は不要。また、リモコンによる遠隔操作に対応し、フロントなどから遠隔による監視も可能としている。

水と電力、CO_2の削減実績をアピール

人と環境に優しい温泉ろ過装置の決定版
FRP製 ろ過装置

優れた 耐蝕・耐候性 耐熱・保温性

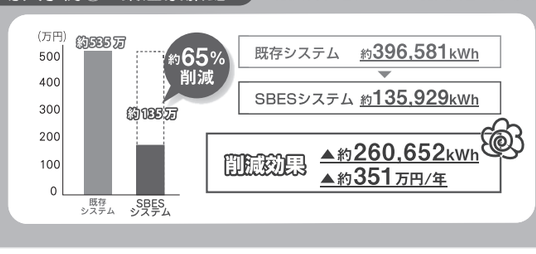
SPF-S5ANT

腐蝕しないので温泉・井水・海水でも大丈夫
タンク 10 年保証だから安心
鋼板、ステンレス製に比べ熱伝導率は 1/50
約 40%の省エネ効果
ろ過装置の入替は
タンクからシステム入替まで
メーカー直接工事で工事費削減

「削減やりきった！」と、言い切れない方 必見！
省エネ対策
ランニングコスト削減なら
ショウエイにお任せください！

＼対策1／ SBESシステム　エネルギーコスト対策
効率的に運転を行い、「水」「熱」「電気」など
使用エネルギーの適切な維持管理をするシステムです。

導入事例①　某温泉旅館　施設概要　客室110室　露天風呂、内湯風呂



既存システム　約396,581kWh
SBESシステム　約135,929kWh
削減効果　▲約260,652kWh　▲約351万円/年

＼対策2／ 省力化　温泉浴槽 湯守のお手伝い！　人材不足対策
・浴槽温度を常時適温制御。
・浴槽内に設置する温度センサーは有線、無線の２タイプ。
・浴室利用状況や温度・塩素状況もモニタリング。

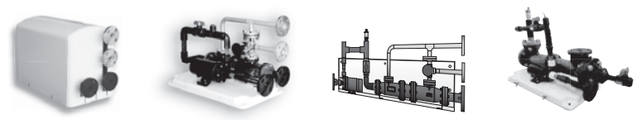
SHOEI 水とともに・人にやさしく
客室個浴槽対応
昇温ユニット
温泉仕様
耐熱・耐蝕樹脂製
シェル:エンジニアリングプラスティック
チューブ:チタン

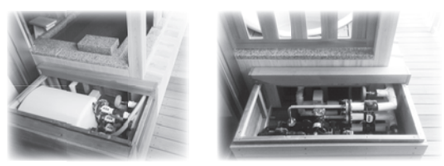
KOC－1

1. 構成部品が少なく軽量、確かな保温性能
2. 耐蝕樹脂製の小型熱交換器を使用
3. 小規模浴槽向け、省スペース。浴槽容量～500L、～1,000L、～1,500L
4. 集毛網付吸込口※オプションとあわせて、ヘアキャッチャを省略
5. リモコンによる遠隔操作が可能
6. フロント等で、一括遠隔監視 ※オプション

コンパクト　軽量

豊富なバリエーションからお選びいただけます


カバー付床置きタイプ　【温水】仕様 床置きタイプ　壁掛けタイプ　【電気ヒーター】仕様

設置事例


SHOEI 株式会社 ショウエイ
URL https://www.shoei-roka.co.jp
本社　〒211-0032　神奈川県川崎市幸区新川崎2-6　Tel:044-589-1601　Fax:044-589-1602　E-Mail shoei@shoei-roka.co.jp
●関西支店 077(510)0040　●岩手営業所 0194(39)1300　●仙台営業所 022(794)8921　●郡山営業所 024(954)4225　●静岡営業所 055(943)7010　●山梨営業所 055(225)3435　●富山営業所 076(461)6405　●広島営業所 082(870)7040　●福岡営業所 0948(20)5116　●札幌支店 011(815)4618

＼請求業務をかんたん・スピーディに／

初期
月額利用料
0円

キャンセル料の
請求業務を
デジタル化

point 1
請求業務を
すべて自動化
かんたん操作でメッセージ送信から請求のリマインド・回収までキャンセル料請求業務を自動化！

point 2
請求を
すべて一元管理
請求状況は専用の管理画面で一元管理。スタッフ間での情報共有もスムーズに。

point 3
最短当日
月額費用無料
初期・月額費用は掛からずに、最短当日から利用いただけます。
0円

Payn　Payn（ペイン）株式会社
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町5-1
お問い合わせはこちらから
https://payn.io
050-1791-4376
sales@payn.io

いよいよ7日に開幕

新製品を一堂に展示

東京ビッグサイトで

HCJ2023

外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展
第51回 国際ホテル・レストラン・ショー HOTERES JAPAN

給食・宅配サービス業界に向けた商談専門展
第44回 フード・ケータリングショー CATEREX JAPAN

セントラルキッチンを含む総合厨房・フードサービス機器の商談専門展
第23回 厨房設備機器展

特集 8～10面

予約・販売管理システム

シーナッツ

ブース番号 5－F10

予約・販売管理システム「TL－リンカーン」を提供するシーナッツは、3年ぶりにホテレス・ショーに出展する。「共通在庫サービス」を利用した集客方法と併せて提案する。

「昨年10月に全国旅行支援の一斉販売による予約通知の増加に伴う一部機能制限によって旅館・ホテルの皆さまには大変なご迷惑をお掛けしましたが、12月にサーバー増強を行い1月の全国旅行支援の販売時には安定稼働が実現できた。新機能も追加しているのでぜひ、ブースに足を運んでほしい」と山田英樹社長。

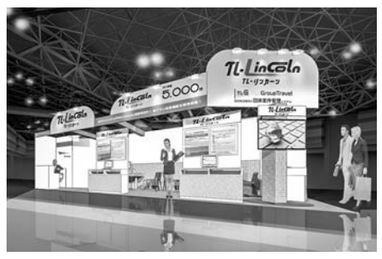
TL－リンカーンは、旅行会社とOTAからの通知を一元管理し、残室・料金調整が一括でできるもの。導入施設は約5100軒で、対応販売先は旅行会社、OTAを合わせて148社（共通在庫サービスは66社）。導入後のフォロー・サポート体制の充実と、ユーザーの声を商品、サービスに反映する点が評価されている。最近では、チェーンやグループ施設を本部で管理できる「本部管理WEB機能」を追加した。

一方の共通在庫サービスはTL－リンカーン上に部屋とプランを作成するだけで、提携する販売先がその時の状況を確認してから販売する仕組み。そのため、オーバーブックの発生がない。

また、1社ごとのプラン作成の手間をかけずに簡単に集客ができるため、販売先を追加するケースが顕著という。中には30程度の販売先を登録している施設もある。

シーナッツが自社に設けているコールセンターの充実も特徴。365日稼働し、午前9時から午後9時まで対応する。

また、現在休止をしているオンラインセミナーも2月から再開を予定している。セミナーは、新しい担当者向けや、新機能の操作方法を紹介するもの。無料で利用できる。



出展ブース（イメージ）

「共通在庫サービス」を提案

キャンセル料請求業務デジタル化

Payn

ブース番号 6－H01

Payn（ペイン）はキャンセル料の請求業務をデジタル化するツール。2022年10月にサービスを公開した。

旅館ホテルや飲食店にとってノーショーは頭の痛い問題。飲食店の年間被害総額は2千億円ともいわれている。宿泊施設では、ノーショーだけでなく通常の宿泊キャンセル料についても請求業務が十分に行われていないのが実態だ。予約受け付け時に事前カード決済を行っていない限り、キャンセル料の請求業務はアナログ、手作業にならざるを得ない。手間や心理的な負担がかかる割に回収率が低いため、諦めてしまう、やらない、そして請求されないのでさらにノーショーが増えるという悪循環に陥っているケースが少なくない。

ペインはこの問題をデジタルで解決する。請求、リマインド、回収といった一連のキャンセル料請求業務を1分程度の操作で全て自動化。画面操作のみのため、回収に伴うストレスから開放される。一定の回収も見込めるため、宿の生産性向上に寄与するDXツールとなっている。

具体的には、宿がペインの管理画面から請求ツールを使ってキャンセル料を請求すると、ペインからキャンセルした宿泊客に決済用URLが記載された請求メッセージが送付される仕組み。決済用URLからクレジットカードなどで支払いが行われると、ペイン社の手数料を引いた金額が宿に振り込まれる。宿側は、ペインの管理画面に請求先名、請求金額、メールアドレスなど最低限の情報を入力するだけだ。

多言語対応のため、インバウンド宿泊客にも使える。キャンセルポリシーを規定していれば、宿泊施設、飲食店に限らず、アクティビティやレンタカー事業者などでも活用できる。

初期費用、月額費用は無料。キャンセル用を回収できた場合にのみサービス手数料が発生する。

出展ブース（イメージ）

宿泊施設の生産性向上に寄与

音声通話ソリューション

ソフツー

ブース番号 5－S21

クラウド型コールセンターシステムサービスの開発をはじめ、ホテル用電話機の販売など音声通話ソリューション事業を展開するソフツー（東京都中央区）。

第51回国際ホテル・レストラン・ショーの出展ブースでは、2月に正式リリース予定の24時間対応可能なAI電話自動応答・取り次ぎサービス「ミライAI」の実演、紹介をメインに行い、国内外大手宿泊施設を中心に活用されているホテル用電話機「VTech（ブイテック）」の展示も同時に実施する。

ミライAIは、Googleの音声技術をベースに独自開発したAI技術を採用。電話着信時に電話発信者の声を認識し、自動で電話応対する。

ミライAI（イメージ）

AIが電話自動応答・取り次ぎ

電話主の情報を即時に音声、テキストで共有するため、担当に取り次ぐか否か判断し、担当者が不在・忙しい場合には、要件をヒアリングし、担当者にチャットやメールを送信する。

そのため、「伝言メモの記載ミスの懸念を払拭するほか、営業電話対策としての活用が見込める。慢性的な働き手不足に頭を悩ます宿泊施設においてもミライAIを活用することで、生産性向上を図れると同時に、サービスに注力して、顧客満足度の向上にもつながれば」と第一営業部部長代行の熊沢巧氏。

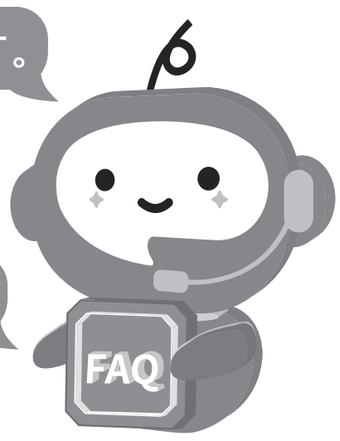
また、ミライAIは選択した会話フロー（シナリオ）に合わせて電話対応を行うことができるため、ホテルのよくある質問を多言語（日本語、英語、中国語）で自動応答することが可能。今回、本展示会でこのシナリオ（対話型FAQ）をプレビュー版で用意する。

「インバウンドの本格的な受け入れの対策を見込んで、導入を検討してほしい」と熊沢氏。

導入方法は簡単で、現在利用している電話番号を転送設定するだけで、工事や電話番号の変更は一切不要。月額500円から最短1日で導入が可能という。

多言語対応電話自動応答サービス【ミライAI】

子供向け施設はありますか？
はい、ございます。
Is there a parking spot?
Yes, there is.
可以用支付宝支付吗?
可以用支付宝支付。



softsu
voice for innovation
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1-7 野村不動産東日本橋ビル 5F
お気軽にお問い合わせください。　E-mail：support@miraiai.jp
ミライAI
クラウド型AI電話対応
取次サービス「ミライAI」

リンカーンは「声」で、できている。

TL- リンカーンはご導入施設様の皆様の「声」を大切にしています。
毎月のバージョンアップもその「声」をもとに、改善や拡張を実施しています。

宿泊施設の、宿泊施設による、宿泊施設のための予約・販売 管理システム
TL-LinColn
TL・リンカーン

旅行会社とネット販売の予約・販売管理を1つに集約
PMSへの入力・修正の負荷を、カスタマイズ機能により大幅に削減
共通在庫サービスで手間なく販路拡大が可能
統計実績データをボタン1つで集計・分析、営業力が強化

https://www.seanuts.co.jp
株式会社シーナッツ　〒108-0023 東京都港区芝浦 3-12-7 住友不動産田町ビル 4 階　TEL：03-6835-8410（代）　FAX：03-6772-1002
シーナッツ